

大倉源次郎



時を超える響き

日本が誇る

能楽囃子方による演奏と解説



松田弘之

— 能楽囃子の世界 —

小寺真佐人



大倉

慶乃助



2026

5月8日「金」

18時開場 18時30分開演

国立音楽大学講堂小ホール

西武新宿・拝島線/多摩モノレール「玉川上水駅」徒歩7分

一般：1000円 / 本学学内者・高校生以下：無料

日本の音楽を、あなたは語れますか。

世界に出たとき、この国の音楽を自分の言葉で語れること。それは音楽家、音楽を愛する者を支える大切な礎になります。

現存する世界最古の舞台芸術のひとつ、能。その音楽である囃子は、能管・小鼓・大鼓・太鼓の四つからなる器楽合奏です。

数百年にわたって受け継がれてきた音、掛け声、そして「間」——研ぎ澄まされた緊張感、しびれるほどにかっこいい。

笛方に本学卒業生の松田弘之氏、小鼓方に人間国宝・大倉源次郎氏を迎えた解説付き演奏会。

時を超える響きを、会場で体感してください。

入場料(全席自由)

一般 / 1,000 円

本学学生・教職員、高校生以下 / 無料(要予約)

※入場時に、身分証明書の確認をいたします。本学学生は学生証、本学教職員は教職員証、高校生以下の方は生徒手帳等をご提示ください。

予約方法

チケットサイト「teket」
イベントページより受付

※ご予約には teket への会員登録
が必要です。



ご予約はこちら

【一般申込の方へ】

チケットのお支払方法は下記の2種類です。

- (1)クレジットカード決済
- (2)コンビニ支払い

※コンビニ支払いの場合は支払い手数料が別途 220 円発生します。

- ・ご予約は先着順です。定員に達しましたら受付を終了いたします。
- ・チケットの払い戻しはいたしかねます。
- ・入場チケット(二次元バーコード)は、申し込み完了ページに表示されるほか、認証時のメールアドレスにも届きます。
- ・不具合等ございましたら、楽器学資料館ウェブサイトのお問い合わせフォームまたはお電話でご連絡ください。

会場 国立音楽大学講堂小ホール

東京都立川市柏町 5-5-1

西武拝島線/多摩モノレール「玉川上水駅」徒歩7分

※演奏会当日は第3駐車場を無料でご利用いただけます。

出演者プロフィール



笛方
森田流
松田弘之

能楽森田流笛方、故田中一次並びに故森田光春に師事。国立音楽大学卒業。東京を中心に舞台活動を行う。〈卒都婆小町・姨捨・檜垣〉等の大曲を勤めるほか、「空海」「長崎の聖母」等の新作能、「まちがいの狂言」「檀山節考」等の新作狂言にも数多く参加。語り、地唄舞、現代舞踊等との共演も多い。中国・韓国・ヨーロッパ諸国・南北アメリカなど世界各地での公演も多数。

第三八回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。国立能楽堂養成課講師。重要無形文化財総合認定保持者。能楽協会及び日本能楽会会員。



小鼓方
大倉流
大倉源次郎

能楽小鼓方大倉流十六世宗家。(公社)能楽協会副理事長。1957年、大倉流十五世宗家・大倉長十郎次男(大阪生)。

1981年、甲南大学卒業。1985年、宗家継承。

2017年、重要無形文化財保持者各個人認定。

観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。

能楽DVD「大和秦曲抄」(2009年)、「五体風姿」(2010年)を制作。著書に、『大倉源次郎の能楽談義』(淡交社、2017年)、『能より紐解く日本史』(扶桑社、2021年)、『能の起源と秦氏』(田中英道との共著、ヒカルランド、2023年)。

2019年、フランス LV 財団より招聘を受けシャルロット・ベリアン展覧会能楽公演制作。2024年2月の(公社)能楽協会パリ・オリンピック能楽公演、同年6月のニューヨークで開催された『匠の会』、同年12月の日韓共同公演『望恨歌』など、多数参加。



大鼓方
大倉流
大倉慶乃助

能楽師(大倉流大鼓方)。重要無形文化財総合指定保持者。

1983年、東京都出身。大倉流大鼓方 大倉正之助長男。叔父は、大倉流小鼓方 大倉源次郎 重要無形文化財個人指定保持者(人間国宝)。

6歳のころより、子方として様々な能公演に出演。13歳のころより、大鼓のお稽古を始め大倉流祖先際にて独鼓「天鼓」にて初舞台。15歳より大倉流大鼓長老、山本孝師に師事。以降、初能「経正」「翁三番叟」「狸々乱」「石橋」「道成寺」「卒都婆小町」等を抜く。カンボジア アンコールトムでの能公演、ニューヨーク グッケンハイム美術館での「三番叟」等、海外公演多数参加。2023年4月公開映画『ヴィレッジ』等、数々の能楽シーンにて能楽大鼓方として映画に出演。

2026年1月、一般財団法人 浮月内匠寮 評議委員 就任。



太鼓方
観世流
小寺真佐人

1977年(昭和52年)9月11日生。能楽協会東京支部会員。観世流太鼓方職分。重要無形文化財保持者(総合指定)。東京芸術大学邦楽科能楽専攻非常勤講師。

父、小寺佐七及び観世元信、観世元伯に師事。東京芸術大学邦楽科卒。初舞台 10歳、独鼓、「鞍馬天狗」。今までに「石橋」、「乱」、「道成寺」、「翁付」、「鷲」、「姨捨」などを抜く。

ヨーロッパ、アジア、アメリカなどの海外公演に多数参加。国内では、能楽普及公演 七拾七年会や、復興支援能息吹の会など、能楽の普及につとめる。